

新ましこ未来計画に関する提言書

1. 基本目標 幸せを感じる暮らしをつくる

- ① 人口減少及び年間出生数減少対策として、要因のデータを蓄積し、分析等の深掘りを行うことによって現行の施策につなげることが重要である。さらに、少子化対策として、その源である婚姻率の向上に着目した施策の拡充を図られたい。また、近隣の企業に勤めている人達に対し、益子に住んでもらうような対策を講じられたい。
- ② 安全安心な暮らし、高齢者の生きがいづくりの観点から、全国的に見られる高齢者運転事故の予防策の策定をはじめ、デマンドタクシーを含む二次交通の充実、利便性向上を図る必要がある。

2. 基本目標 風土に根ざした産業をつくる

- ① ましこ悠和館事業の平和学習の場となる資料展示室を活用し、益子を広くアピールできるよう、資料のさらなる充実を求める。また滞在型の観光地にするため、悠和館の宿泊事業について早急に実施されたい。
- ② 農業振興分野について、地域拠点施設となる加工所の利用向上を図り、6次化製品の推進及び町内事業者・新規事業者の新商品開発について促進策を講じる必要がある。さらに道の駅の集客増を図るために新たなフードコーナーの設置を検討されたい。
- ③ 益子ブランド商品開発については、ブランドは消費者の抱くイメージによって育てられるとの認識のもと早急に推進されたい。また、手仕事人材バンクの設置を早急に図るとともに、育成を含む手仕事人材後継策も取り組むべきである。

3. 基本目標 社会的に自立した人を育てる

- ① 子供たちの学力、体力の向上とともに、本町の自然、文化、風習をさらに活用した個人に寄り添った教育の充実を図り、心の醸成を主眼においた地域愛を育める教育環境の整備推進策をさらに講じる必要がある。地域愛を育むために、これから取り入れるコミュニティスクール制度を活用し推進されたい。
- ② ましこ町民大学を受講された方々のコミュニティとの連携を強化し、地域活動に参画する意義の重要性を担えるよう支援体制を確立する必要がある。

4. 基本目標 地域資産を蓄積する

- ① 日本遺産申請については、町民を巻き込み多様な意見を取り入れるようなプロセスの形成が不可欠であり、歴史文化基本構想を十分に活かした取り組みとする必要がある。
- ② ランドスケープデザイン事業の進捗状況を鑑みながら、景観条例の制定に向けた取り組みも併せて実施すべきである。

5. 基本目標 健全な経営体を持続する

- ① 公共施設等総合管理計画にともなう個別管理計画の策定においては、所管部署の管理担当の一元化を図る必要がある。また、将来の負担軽減をより一層図るため、具体的明瞭な方針を示す必要がある。
- ② 職員の働き方改革のもと、適正な労働力の試算をはじめ行政改革の改善、また、新たなシステム導入も見据えた事務事業効率化を検討することも必要である。
- ③ 職員の自己啓発、職務の向上を図るため自発的な研修事業等の積極的参加を促し、地域活動への貢献を反映させる評価を確立することで、行政サービスの住民満足度の充実につなげられたい。さらに、職員の成果をフィードバックして士気を強めるよう図られたい。